



【2018-3】 2018年3月1日

株式会社日本F4協会

## 2018年度JAF国内競技車両規則 フォーミュラ4の改正概要について

JAFより2018年度のF4レース国内競技車両規則は既に発表されています。

改訂内容についてはJAFの発表資料をご覧ください。変更内容について解説します。

JAF ホームページでの改正概要の公示 [http://jaf-sports.jp/news/detail\\_000252.htm](http://jaf-sports.jp/news/detail_000252.htm)

### 規則改正の概要

- ・最大車両寸法の拡大(最大全幅とボディ幅が拡大されました)
- ・ウイングの緩和(前後ともこれまでの1枚ウイングに加え、2枚構成のウイングが許されます)
- ・フロントウイング翼端板のR形状の付与(安全上の改正)
- ・最低重量の増加(最低重量が増加されました)
- ・エンジン規則の緩和(シングルスロットルエンジン、可変バルブタイミングが認められます。JAF認定エンジンの規制には変わりはありません)
- ・トランスミッションのシフト方法の緩和(動力パドルシフトが認められます)
- ・側面防護体の緩和(FIA側方貫通パネルを装備した車両には側面防護体が不要になります)

炭素繊維製のサバイバルセルは現在JAFで承認されている物は2種類のみです。

- ① 童夢製 UOVA
- ② タツース/ルノー製 フォミュラールノー2000

上記を利用した車両はF4規定を満たす事でF4レースへの参加が可能になります。

エンジンは現在までに15種類のエンジンがF4用としてJAF承認されています。また、新たに下記のエンジンをJAF申請中です。

- ① 尾川自動車製 OGAWA-F4エンジン (シングルスロットル、ベースエンジン:ルノーF4R)
- ② トムス製 TZR42(シングルスロットル、ベースエンジン:トヨタ3ZR)

これまでのF4車両は2018年度には、最低車両重量の変更、フロント翼端板のR形状の変更だけで参加が可能です。

タツース製フォミュラールノー2000 はF4認定エンジンを搭載して、車体をF4規則に適合させ、車両製造者としてF4協会に申請すれば、参加が可能になります。

また、後方からの追突事故に備えた安全部品の付与が推奨されています。これは車両後部の強固な突起を解消、緩和することを目的とされていて、後方、及び、下方に突出するリヤウイングステー、リヤジャッキアップ等にアルミ合金板などを取付けます。対応方法、部品等は車両製造者にご相談ください。

以上